



～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

「ドロッカーでも読んだら」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

早いもので新年度に入ってもう数ヶ月が経ちました。各職場の新人さんたちは社会人として、また医療人としての第一歩を踏み出し、そして壁にぶつかりながらいろいろな思いを持って目の前で起こっていることに立ち向かう日々を送っていることと想像します。頑張っている方に「頑張って」というのは甚だ失礼だと存じてはいますが、かのアドラーも語っているように、自分の目の前で起こっていることは自分の「課題」であって自分が解決するしかありません。だから、正直なところ他者としての私は「頑張って」としか言えず、それぞれの「課題」がそれぞれの頑張りで解決することを祈ること、そして求められれば支援することしかできません。

前号の「湖道突」には「霧はきっと晴れる」というテーマで書かせていただきました。少しばかり反響をいただいたので、今回は問題解決の方法についても少し具体的に記してみたいと思います。問題解決の方法として根拠のない「頑張り」だけでは難しい。困った時に先輩や上司に相談するのは手っ取り早い一つの方法です。他者に聞いてもらうことは解決への第一歩となることは確かにあります。重要なのはそれで終わりにしないことです。自分から問題解決の手がかりを学ぶ、いや「もぎとる」積極性を若いうちに身につけてください。結局は自分の「課題」では自分でしか解決できないからです。私なりにいろいろとやってみた結果、問題解決には意思決定・選択と集中、論理性、課題の整理と勇気、レジリエンスとGRITがキーワードだろうと考えています。それを得た書籍とともに記したいと思います。

まずひとつ目の意思決定・選択と集中。以前にもご紹介しましたが、当院で教育部門を立ち上げる際に大

きな支えになったのはドロッカーでした。たくさんのお書籍がありますが、最近読んだのは「ドロッカー思考法大全(中経の文庫)」。組織の動かし方、選択と集中、意思決定のルールなど。何度読んでもさすがドロッカー！という感じです。ドロッカーはビジネスマンやリーダーが読むもの、と思われている人もいるかもしれませんが、業務上の問題のかなり広い範囲をカバーできる解決策を示してくれています。何を捨てて何をとればいいのか分からないとき、強みを活かしましょう。あれもこれも並べてもうまくいくはずはありません。結果が出ない、組織がうまく動かない、思ったように事が運ばないのならドロッカーでも読んだら？というくらいオススメです。うまくいかないのならやり方を見直しましょう。イノベーションは過去の成功の否定から始まります。

ふたつ目は論理性。私は講演などでプレゼンすることが多いのですが、自分が満足できるプレゼンは10回に1回もあるかないか、です。年がら年中何かしらのプレゼンの準備をしているのにもかかわらず、です。これは正直悔しいです。まあ、スライドを用いたプレゼンなのでうまくいかどうかは準備だけではなく、聴衆次第という側面はありますが、プレゼンをしながら聴衆の反応をみて「アレ？」と思うことがあります。講演中に自分の頭の中と聴衆のギャップがあることに気づくのです。原因はターゲット設定やストーリー展開などがあげられますが、根本的に自分の論理展開力に問題があるのだろうと反省しています。ということで最近では論理性に関心を持っています。いろいろと読んでみました。とっかかりとしては「そもそも「論理的に考える」って何から始めればいいのか？(日本実業出版社)」。小難しいところは一切ありません。対話形

式であつという間に読めてしまいます。そして最近の大ヒットが「超」入門！論理トレーニング（ちくま新書）。三角ロジックがすごい！他者に自分の考えを伝える時にこの方法を意識するだけで随分と相互理解がえられやすくなるでしょう。論理的でないで自分の考えは相手に伝わりません。相手と噛み合っていない？と思ったら論理性に問題があるかもしれません。論理性を鍛えると様々な事象の理解がもっと進むし、事を前に進めやすくなるでしょう。質問を笑ってかわしてはいけません。それは論理的でないのです。

3つ目は課題の整理と勇気。冒頭でアドラーの名前を出しました。「嫌われる勇気（ダイヤモンド社）」というベストセラー本からブームが続いており同名のドラマの放送もあつたくらいですのでご存知の方も多いでしょう。続編の「幸せになる勇気（ダイヤモンド社）」と合わせて読まれることをオススメします。この世のすべての問題は人間関係にある、とアドラーは言います。解決策として自分の「課題」と他者の「課題」を分けて考えることの重要性、自分の居場所に貢献できていること、自分の居場所を大切にしたい、ということを感じてほしい、ということをお話します。結果的に孤独になるけれど、それを恐れるな、ということも。生きていけばいろいろなことがあります。苦しい時にはアドラーは超オススメです。響きます。私には涙が出るくらい響きました。恐れぬ勇気を持てればそこから抜け出すことはできるでしょう。笑ってごまかさなくてもいいのです。喧嘩をする必要は全くありませんが、丸くおさめようとする必要もないし、各々が倫理的に社会的に論理的に自分の居場所で自分のやるべきことで正しく貢献すればそれでいいと思うのです。八方美人である必要はないのです。孤立してはいけませんが、自立するということはある意味において孤独なのです。そうであることに勇気が必要なのです。それはリーダーシップの醸成にきつとつながることでしょう。

最後に。やはり気持ちの持ちようというのは大事です。問題だらけの中から抜け出す力はおそらくレジリ

エンスとかGRITという言葉で言い換えが可能です。レジリエンスとは例えるなら大きくしなつた竹が元に戻るチカラ。「なぜ、一流の人はハードワークでも心が疲れないのか？（SBクリエイティブ）」という本に詳しいです。しんどいことは多いです。しかし、しんどいことには必ず「底」が存在します。「底打ち」させておいてそこから這い上がるチカラをレジリエンスと言います。このチカラに通じるのは「GRIT」。やり抜く力のことです。「GRIT やり抜く力（ダイヤモンド社）」に詳しく書いています。安心してください！最初からできちゃう人なんてほとんどいません。できる人、というのは他者からは見えない涙ぐましい努力をしているものです。コツコツと積み上げていくこと。コツコツ続けていけば方向性が間違っていれば結果は出ます。できる人というのはコツコツ続けてやれるGRITと、うまくいかない時になんとか元に戻るレジリエンスを努力で身につけています。問題解決にはメンタリティとして意識して問題の「底打ち」をさせること、一歩踏み出して愚直にやり抜くこと、それを続けられるGRITを持つてることが必要です。これは生まれつきでも何でもありません。意識すれば、努力すれば必ず身につきます。ベースには自分が当事者であるという意識を持ちましょう。

実は働き始めて少し慣れた頃に意外と苦しい時期がやってきます。そのしんどい時をくぐり抜けたらまた壁が目の前にやってきたりします。まあうまくいかないことも多いでしょう。でもね、解決できたら楽しくなります。そう、経験上、しんどい時はあなたにとって成長のチャンスです。そう考えるだけで何とかなるような気がしませんか？とはいえ、大変なのは百も承知しております。新人の皆さんにおかれましてはどうか体に気をつけて「頑張つて」ください。皆さんそれぞれの「課題」が解決しますよう教育研修部の責任者として心から応援しています。少しでも今回のコラムが参考になれば幸いです。さあ前向いて頑張つていきましょい！





旅先で経験した救命処置



1階病棟 看護師
寺田 航大



4階西病棟 看護師
宇津 ゆうき

看護師の寺田と宇津です。

暑さが日ごとに増してきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私たちは松江医療センターに入職し1年が経過しました。当院では新人研修として急変時の対応について学びます。また、各病棟単位でも急変を想定したシミュレーションを行い、観察項目の優先順位や心肺蘇生の方法について指導を受けました。そのような日々を過ごす中、私たちは2月の連休を利用し、リフレッシュのため大阪へ旅行に行きました。

旅行からの帰りにお土産を購入しようと岡山駅前にあるお店に立ち寄りしました。

用事を済ませ、お店からでると、60~70歳代の男性が道路に立ててあるお店の旗を掴むようにして仰向けに倒れているのを発見しました。帰る時間が迫っていましたが、「つまずいて転んだのだろう。」と思い咄嗟にかけより、抱えて起こそうと試みましたが、全く力が入っておらず、様子がおかしいことに気づきました。肩を叩いて男性に呼びかけますが、「ウーウーウー。」としか反応がありませんでした。異物を飲み込んでいるのではないかと思い口の中に手をいれ観察しましたが何もなく、間もなくして男性の呼吸が止まり、呼びかけに対して反応がなくなりました。脈も触れず、すぐに心肺蘇生が必要だと思い、胸骨圧迫をはじめました。それと同時に119番通報し、救急車の手配を依頼しました。胸骨圧迫を開始し、3分ほど経過した時、「ハッ！！」と男性の意識が戻り、呼吸が再開しました。男性を横向きにし、車に積んでいたクッションを男性の頭部に当て、間もなくすると救急車が到着したので、救急隊の方に状況を伝えその場を後にしました。

もし、急変時の研修を受けていなければ、慌ててしまい、行動することができなかったと思います。研修により適切な知識や方法を学びシミュレーションを行ったことで冷静に対応ができました。

これからも、「看護師」としてまた、「人」として誰かの役に立ちたい、という使命感をもって仕事に励みたいと思います。



「看護の日」の行事『看護フェア』を開催しました



看護部広報委員会 4階西病棟 看護師 陰山 朋美



ナイチンゲールの生誕祭に因んで制定された「看護の日」の5月12日に合わせ、看護の日のイベントを開催しました。

院外に向けては毎年、地域の方々への健康応援とともに、地域に根差した病院の役割として、『看護フェア』を開催しています。

今年は、近隣のスーパーのみしまや上乃木店で開催させていただきました。

『看護フェア』には、幅広い年齢層の方、約30名ご参加いただきました。

参加してくださった方へは、当院のパンフレット、ウエットティッシュ、絆創膏、クリアファイルを参加記念としてお渡ししました。

今年は、例年の血圧測定、身長・体重測定、体脂肪測定に加え、骨密度測定を実施しました。

測定のみならず、慢性呼吸器疾患看護認定看護師や摂食・嚥下障害看護認定看護師による健康相談、栄養士による栄養相談、薬剤師によるお薬相談を行い、熱心に相談される姿が見られました。「血圧は1日3回測っている。」「骨密度は初めて測るわ。」という声が聞かれ、日頃からご自分の健康管理に気を配っていらっしゃる方や健康状態に関心のある方が多かったように感じました。

院内では、病院玄関のロビーに、ナイチンゲール像を設置し、「看護の日」について紹介すると共に、看護の日ギャラリーとして、各病棟の特徴や様子、実践している看護についてまとめたポスターを掲示しました。それぞれの病棟について皆さんに知っていただけたのではないかと思います。また、「私の家族」と題して、当院の職員の子供さんが書いた絵を展示しました。個性あふれる可愛らしい絵に心が和んだ方もたくさんいらしたと思います。入院されている患者さんには、看護師がメッセージカードを作成し、配布しました。

今回の看護フェアを通して、地域の方々へ、健康への関心を持っていただくお手伝いと松江医療センターを知っていただくいい機会になったのではないかと思います。

たくさんのご参加とご協力ありがとうございました。



血圧測定



骨密度測定



栄養士による栄養相談



認定看護師による健康相談



平成28年度 院内認定士 認定証授与式を行いました



教育研修部副部長 古門千代美



教育研修部は、創設時（平成24年）より院内認定士を育成してきました。

院内認定とは、「専門的医療のスペシャリストを養成するためのシステム」です。各分野で養われた経験・知識・技術をもとに専門性の高い医療の提供を目指し、呼吸器ケア、医療機器マスター、重症心身障害児（者）看護、神経・筋疾患看護、肺がん化学療法看護の5分野があります。

院内認定士の資格取得には、1年間の教育プログラムによる教育課程を経て、筆記試験やケースレポートをまとめた発表（プレゼンテーション）を行い合否判定されます。5年間で計59名の院内認定士（看護師、理学療法士、作業療法士）が認定されています。

平成28年度、以下の5名の方々が認定され授与式を行っています。

- 呼吸器ケア 吉岡 将太（リハビリテーション科作業療法士）
- 神経・筋疾患看護 北村 美雪（1階病棟看護師）
安食 裕子（2階病棟副看護師長）
- 重症心身障害児（者）看護 平塚小百合（3階病棟看護師）
万波 早織（3階病棟看護師）
- 肺がん化学療法看護 藤原菜保子（5階病棟看護師）



今年度も資格取得のため、
研修を受講しています。



肺がん化学療法看護 院内認定看護師に認定されました



5階病棟 看護師 藤原菜保子



肺がん化学療法看護 院内認定看護師に認定された藤原菜保子です。

私は祖母ががんを患っていたこともあり、がん治療やその看護に対する興味がありました。抗がん剤治療による副作用で苦しんでいる患者様を前に、何かできることはないか悩むことも多くありました。

昨年度、肺がん化学療法院内認定看護師育成過程が設立され、毎月の講義や事例発表を通して治療や看護の新たな知識を身に付けることができました。

まだまだ知識不足ではありますが、今回の学びを看護実践に活かしていきたいと思っております。

異 動 者 紹 介



まつもと りょういち
松本 良一

職 名：事務部長

趣 味：登山（ロック・沢）、磯釣

ご挨拶：厚生労働省医政局から異動（採用）してまいりました。

これまで松江には、出張で4、5回訪れたことがあり何かの縁を感じているところですが、これから皆様のため、ひいては当院のために何が出来るか自問しながら全力で取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



いくま いさお
生馬 勲

職 名：循環器内科医長

趣 味：ウォーキング、腰痛なければジョギングも

ご挨拶：抱負 平田市（現出雲市）の生まれです。島根医大第四内科→益田赤十字病院→出雲市立総合医療センターを経て、このたび松江医療センターに参りました。「新任」のイメージからすると少々年齢も行ってはいますが、その分経験は豊富と信じています。こちらの生活に早く慣れ、少しでもお役に立ちたいと思っています。よろしくお願い致します。



たなか としひで
田中 寿秀

職 名：企画課長

趣 味：スポーツ全般

ご挨拶：関門医療センターから異動してまいりました。暑さに弱い私ですが、松江は朝夕が涼しく、過ごしやすく気に入っております。

一日も早くなれ皆様のお役に立ちたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



ひらの てつお
平野 哲生

職 名：理学療法士長

趣 味：大山限定の登山、カープの応援

ご挨拶：松江で11年間お世話になった後、米子に転勤になり、この度3年ぶりの松江復帰となりました。病院も新しくなり戸惑うこともありますが、懐かしい方々と再会できて、温かい声を掛けてくださいます。少しでも皆様のお力になれるように頑張っていきますのでよろしくお願い致します。





もりおか よりひろ
森岡 頼彦

職 名：業務班長

ご挨拶：岡山医療センターから異動して参りました。今回が初めての山陰側の施設での勤務になります。また、旧療養所での勤務も初めてになります。

1日でも早く松江での生活に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



ふせ みちよ
布施 道代

職 名：看護師長（4階東病棟）

趣 味：体を動かす事

ご挨拶：米子医療センターより異動して参りました。松江医療センターには9年ぶりの勤務です。建物は一新し、スタッフも若者が増え見違えてしまいました。私も心新たに誠心努力していこうと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



いだ えりか
伊田 絵理香

職 名：看護師長（3階病棟）

趣 味：雑貨、使用がいのあるステーションナリーをみつけること

ご挨拶：4月に鳥取医療センターより看護師長昇任で参りました。日々緊張していますが、病院の方々、患者さん、ご家族の方々に声をかけて頂きがんばられています。患者さんにとってあたたかく、楽しい病棟、スタッフの皆さんにはやりがいを感じてもらえるような病棟作りをしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



もりたち のぶあき
森谷 伸明

職 名：専門職

ご挨拶：米子医療センターから異動して参りました。1日でも早く病院に慣れて、松江医療センターに貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



人事異動

発令月日	事項	職名	氏名	備考
H29.5.1	配置換	看護師長	中田早苗	感染防止対策室→5階病棟
H29.5.1	配置換	看護師長	奥村真美	5階病棟→外来
H29.6.1	採用	診療部長	古和久典	鳥取大学医学部准教授
H29.7.1	採用	リハビリテーション科医長	細田義人	陸上自衛隊米子駐屯地

※役職職員以上を掲載しております。



麻酔科の紹介



麻酔科医長 西村友紀子

麻酔科は、主に呼吸器外科の手術麻酔を行っています。
 水曜日の腰痛外来では、主にぎっくり腰などの痛みの治療を行います。
 慢性の痛みを完全に無くすことはできませんが、少しでも楽に生活して
 いただけるよう、薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指して
 います。
 麻酔に関して知りたい方や、腰痛がある方は、どうぞお気軽にご相談
 ください。



手術室・中央材料室の紹介

呼吸器疾患の専門病院として山陰で最も早くから胸腔鏡下手術を行っています。平成26年には新手術室に移転し、より胸腔鏡下手術に適した環境となりました。更に多くの実績をふまえて患者さんに安全で安心な手術を提供していきます。
 手術スタッフは、手術前の緊張と不安を抱えた患者さんにまごころを込めた丁寧な説明をタブレットに載せてお届けしています。病室に伺った看護師が手術室の受け持ち看護師です。どのようなことでもご相談ください。



中央材料室では、治療やケアに使用する滅菌された清潔な医療物品を患者さんに適切に提供できるよう心掛けています。

開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.19 伊藤 医院

皆さんこんにちは。医療法人伊藤医院 院長の伊藤健一です。

当院は松江市の東の端、東出雲町揖屋の旧役場（現在の支所）向かいにあり、東の下意東、西の出雲郷に分院があります。12年前に福岡から帰郷し父の医院を継承しました。専門は消化器内科ですが、先代からのカラーを受継ぎ、赤ちゃんから高齢者まで、様々な疾患の相談を受けています。



当院は市の中央部から離れており、病院へのアクセスがあまり良くありません。患者さんの検査の便宜を図るため、3年前に16列ヘリカルCTスキャンを導入しました。

その結果、早期肺癌に遭遇する機会が多くなり、松江医療センターでも手術をしていただきました。また、大腸CT検査を行なっています。写真の院長の後ろはCT装置、前にチラリと写っているのは肛門から大腸内に炭酸ガスを注入する装置です。肛門に細いチューブを挿入し、炭酸ガスを大腸に注入し、膨らんだところで、仰向けと腹這いの二方向のCT撮影をします。検査に要する時間は15分程度、検査中痛みはほとんどなく、炭酸ガスは腸管から吸収されるので、患者さんの腹満感はほとんど消失します。撮影後、コンピュータで大腸の画像を作成します。あっという間に内視鏡検査とそっくりな画像が出てきます。内視鏡検査には敵いませんが、内視鏡検査困難例に有効な手段と考えます。より多くの方々に簡便にCT検査を受けていただき、様々な早期癌の発見の一助になればと思います。

医院周囲には高齢者施設が多数あり、認知症、終末期医療にも関わっています。認知症の諸問題については、松江医療センターにこれからもお世話になることが多いと考えます。終末期医療、とりわけ看取りについては医療レベル、地域レベル、住民レベル、行政レベルでそれぞれ整備すべき問題が多く、皆さんの力を合わせて立ち向かっていく必要を感じています。



【診療受付時間】

		月	火	水	木	金	土
本 院	8:30 ~ 11:40	○	○	○	○	○	○
	16:30 ~ 17:30	○	○	○	○	○	×
出雲郷	14:00 ~ 14:40	×	○	×	○	×	○
下意東	14:30 ~ 15:20	○	×	○	×	○	×

休診日 日曜、祝祭日
《診療科》 内科・消化器科

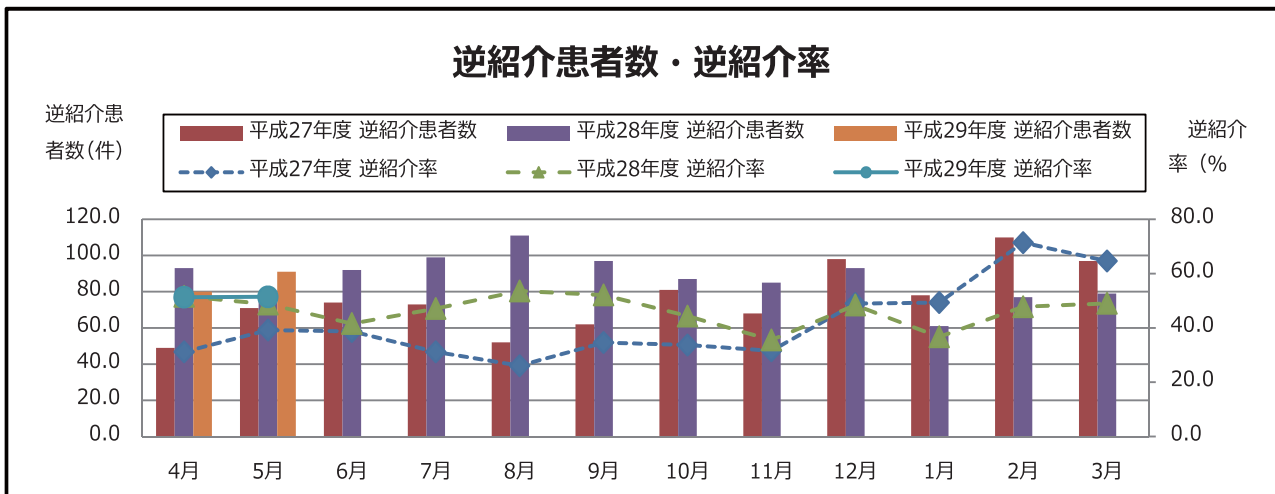
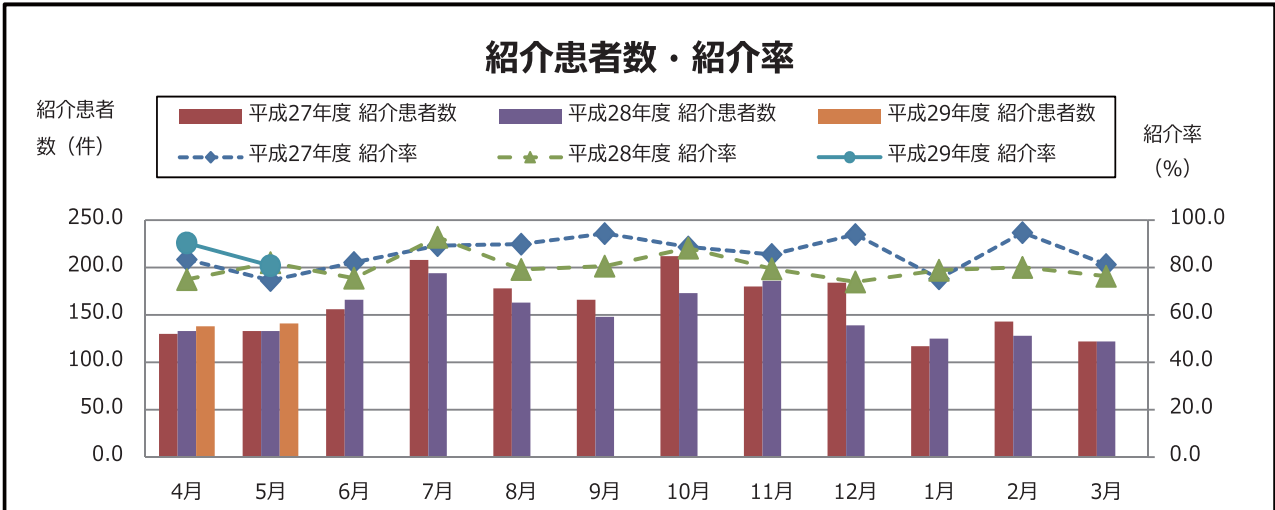
医療法人 伊藤医院 院長 伊藤健一
TEL 本院 0852-52-2251 出雲郷 0852-52-2066
下意東 0852-52-2820

地域医療連携室だより 第28号

平成29年 7月



1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		175人	167人									169人	180人
退院先	在宅 (人)	93人	113人									72人	95人
	施設 (人)	2人	2人									3人	1人
	病院 (人)	2人	2人									2人	4人

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させていただいた患者さんの割合です。

逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数(休日、夜間の救急患者を除く。)

国内最大級の病



132.熊本再春荘病院



120.大牟田病院



103.東広島医療センター



95.米子医療センター



88.兵庫あおの病院



81.京都病院



74.敦賀医療センター



67.東名古屋病院



133.大分医療センター



121.福岡東医療センター



104.賀茂精神医療センター



96.松江医療センター



89.兵庫中央病院



82.大阪医療センター



75.あわら病院



68.東尾張病院



134.別府医療センター



122.佐賀病院



105.関門医療センター



97.浜田医療センター



90.奈良医療センター



83.近畿中央胸部疾患センター



76.東近江総合医療センター



69.豊橋医療センター



135.西別府病院



123.肥前精神医療センター



106.山口宇部医療センター



98.岡山医療センター



91.やまと精神医療センター



84.刀根山病院



77.紫香楽病院



70.三重病院



136.宮崎東病院



124.東佐賀病院



107.岩国医療センター



99.南岡山医療センター



92.高和歌山医療センター



85.大阪南医療センター



78.京都医療センター



71.鈴鹿病院



137.郡城医療センター



125.越野医療センター



108.柳井医療センター



100.呉医療センター



93.和歌山病院



86.神戸医療センター



79.宇多野病院



72.三重中央医療センター



138.宮崎病院



126.長崎病院



116.小倉医療センター



101.福山医療センター



94.鳥取医療センター



87.姫路医療センター



80.舞鶴医療センター



73.柳原病院



139.鹿児島医療センター



127.長崎医療センター



117.九州がんセンター



102.広島西医療センター



140.指宿医療センター



128.長崎川原医療センター



118.九州医療センター



102.広島西医療センター



141.南九州病院



129.熊本医療センター



119.福岡病院



142.沖縄病院



130.熊本南病院



113.四国がんセンター



111.高松医療センター



109.東徳島医療センター



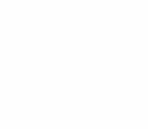
143.琉球病院



131.菊池病院



115.高知病院



114.愛媛医療センター



112.四国子どもとおとなの医療センター



110.徳島病院

院ネットワーク

The map of Hokkaido is divided into 69 numbered regions, each associated with a specific hospital. The regions are color-coded: 1-11 (purple), 12-21 (blue), 22-33 (pink), 34-43 (light blue), 44-53 (green), 54-63 (light green), and 64-69 (light purple). Each region number is placed on the map, and a corresponding photograph of the hospital is provided in a grid around the map.

Region Number	Hospital Name
1	北海道がんセンター
2	北海道医療センター
3	函館病院
4	旭川医療センター
5	帯広病院
6	八雲病院
7	弘前病院
8	八戸病院
9	青森病院
10	盛岡病院
11	花巻病院
12	岩手病院
13	釜石病院
14	仙台医療センター
15	仙台西多賀病院
16	宮城病院
17	あきた病院
18	山形病院
19	米沢病院
20	福島病院
21	いわき病院
22	水戸医療センター
23	霞ヶ浦医療センター
24	茨城東病院
25	栃木医療センター
26	宇都宮病院
27	高崎総合医療センター
28	沼田病院
29	流川医療センター
30	西埼玉中央病院
31	埼玉病院
32	東埼玉病院
33	千葉医療センター
34	千葉東病院
35	下総精神医療センター
36	下志津病院
37	東京医療センター
38	災害医療センター
39	東京病院
40	村山医療センター
41	横浜医療センター
42	久里浜医療センター
43	箱根病院
44	相模原病院
45	神奈川病院
46	西新潟中央病院
47	新潟病院
48	さいがた医療センター
49	甲府病院
50	東長野病院
51	まつもと医療センター 松本病院
52	まつもと医療センター 中信松本病院
53	信州上田医療センター
54	小諸高原病院
55	富山病院
56	北陸病院
57	金沢医療センター
58	医王病院
59	七尾病院
60	石川病院
61	長良医療センター
62	静岡てんかん・神経医療センター
63	静岡富士病院
64	天竜病院
65	静岡医療センター
66	名古屋医療センター

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成29年 8月 1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)		【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 堀内 佑介 【副院長】呼吸器一般（肺循環・肺がん・結核他） 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	多田	小林	岩本	西川	木村		
	矢野	門脇	池田	坪内	小林		
					生馬		
循環器内科							循環器一般
神経内科	中島	古和	深田	足立	鳥大医師		【院長】神経内科 【臨床研究部長】神経内科 【診療部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション 神経内科 神経内科
		下山		細田			
呼吸器外科	伊藤		目次				呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田		【循環器内科】 生馬 勲 【神経内科】 中島 健二 足立 芳樹 古和 久典 細田 義人 下山 良二 深田 育代
	発達専門外来 (予約)	久保田 (予約)	(予約)	久保田 (予約)	(予約)		
予防接種		(予約)					【小児科】 齋田 泰子 久保田智香
腰痛外来			西村(予約)				【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		【呼吸器外科】 目次 裕之 伊藤 則正
睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)			
息切れ外来		呼吸器内科 池田(予約)					【小児科】 齋田 泰子 久保田智香
喘息 アレルギー外来					池田 (予約)		【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
咳嗽外来					池田 (予約)		
禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)			診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30
アスベスト外来		多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
神経難病外来		下山		足立			独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
もの忘れ外来			深田				
セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15：00～17：00（要予約） 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14：00～16：00（要予約） 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13：00～15：00（要予約） 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
喘息 アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10：00～12：00（要予約） 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00（要予約） 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9：00～12：00 神経難病外来
もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9：00～12：00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っていきます。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
セカンド オピニオン 外来	診療日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。